

事故事例

タイヤ交換時のバースト事故

事故発生状況

タイヤ交換において、ホイールにタイヤを組み込み、空気を充填しようとした。
作業者がタイヤの上に乗る、空気を充填していたところ、タイヤがバーストして、作業者が吹き飛ばされた。



原因

タイヤの組み付け不良および充填する空気圧の上げ過ぎ。

対策

タイヤに空気を入れるときは、タイヤの状態(装着状態・傷・損傷の有無)を確認し、適切な空気圧で充填する。

適正な空気圧を、取扱説明書等にて確認し、タイヤに空気を充填、または補充してください。

また、自動車(二輪自動車を除く。)用タイヤの組立てに係る業務のうち、空気圧縮機を用いて当該タイヤに空気を充填する業務を行う場合は**特別教育**が必要です。タイヤを組み換えて空気を充填する場合は特別教育を受けた者が実施してください。

※特別教育は、日常的なタイヤの空気圧補充には必要ありません。規定の空気圧を確認して補充してください。

※特別教育が未実施の場合は、タイヤ専門業者に依頼してください。